



SALVATIONIST と ぎ の こ え

2023年標語「更なる深みへ」(コロサイの信徒への手紙2章7節)

二〇二三年一月十五日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)



新春号

広報版

2023

January-February

No.2846

2023年 救世軍標語

「更なる深みへ」

「キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられたとおりの信仰をしっかりと守って、あふれるばかりに感謝しなさい。」

コロサイの信徒への手紙2章7節



2023年 救世軍テーマコーラス

心に罪の雲かかり もろ手に けがれのこり
思いを乱すものあれば おお主よ きよめたまえ
きよき山に 我は登らん みむねを教えたまえ
恵みの主をつたえるため わがすべてを用いたまえ

If on my soul (NSB650 詞：Arch R. Wiggins
訳：救世軍)、NTB736 Londonderry Air

と きの こ え SALVATIONIST

新春号 広報版

2023 January – February
NO.2846

もくじ

- メッセージ
聖さへの招き
大將 ブライアン・ペドル …… 3
- 〔連載〕聖潔の流れに立つ 第24回
ジョン・ウェスレーの聖潔
—心うちに燃えて—
少佐 丸畑 幸夫 …… 5
- 集会報告
ブライアン・ペドル大將、ロザリー・ペ
ドル中将来日の諸集会 西日本連隊連
合集会、全国士官会 …… 6
ゴスペル・オータム・コンサート、連合聖
別会 …… 7
- 大将来日の諸集会 アルバム ……8、9
- 集会報告
召天者合同記念会 …… 9
- 各地のニュース !!
京都小隊、函館小隊、前橋小隊 ……10
グレイス、長野分隊、浪江小隊、杉並小
隊 ……11
横浜小隊、札幌小隊、女性部、ゴスペル
ハウス ……12
医療部、青少年部 ……13
- YP (青少年部)・ファミリーニュース
佐野小隊、しもべあ宮崎へ ……13
- 災害対策室レポート ……13
- 社会鍋による支援
新潟小隊 ……14
- 救世軍見解表明
社会道德に対する救世軍の立場
第8回「難民と庇護希望者」(2) ……14
- 〈連載・第18回〉
神の呼びかけ～神の民となるために～
(7) 内なる生活への呼びかけ ……15
- 士官学校 ……16



@SArmyJP



SArmy_JP



救世軍
The Salvation Army

きりとり

- 『と きの こ え』購読を申し込みます。
(1年分1140円。税込、送料別)
- キリスト教についてもっと知りたいです。

ご氏名 _____

ご住所 _____

表紙の写真：昨年11月、大將指揮
の連合聖別会での兵士入隊式。(記
事7ページ)

二〇二三年十一月二十日 連合聖別会メッセージ

聖さへの招き

大将 ブライアン・ペドル



だから、いつでも心を引き締め、身を慎んで、イエス・キリストが現れるときに与えられる恵みを、ひたすら待ち望みなさい。無知であったころの欲望に引きずられることなく、従順な子となり、召し出してください。あなたがた自身も生活のすべての面で聖なる者となりなさい。「あなたがたは聖なる者となれ。わたしは聖なる者だからである」と

書いてあるからです。(ペドロの手紙 1章13~16節)

私とロザリー中将は、世界中行く先々で救世軍人とお会いする時、神が世界で何をしておられるかについての証しを語ります。いろいろな所でその神の御業を見させていただいているからです。凍った土地のアイスランドから暖かいパプアニューギニアに至るまで、またアフリカの国々、スペイン、ポルトガル、ヨーロッパ、そして本当に今困難な時を過ごしているウクライナにおいても、そしてロシアの救世軍、また北アメリカの諸国において、あらゆる場所で神の聖なる霊が働き続けているのを見る事ができます。今、世界がたとえ神に背を向けようとしていたとしても、神は今まさにこの世界に働きかけようとしておられる、

私は信じます。この日本で救世軍を通して神が働き続けてくださることを祈ります。私たち救世軍はこの神の偉大な働きの一端を担っています。私は大将として確信しています。神は今も人々を自分の働きに召しておられるということ。そして神はまた、救世軍に召し声をかけておられるということ。私たちは地上における福音派の教会の一つです。今朝、士官、兵士、同友者軍友の方々が集っておられます。神は世界のための神の計画の中に加わるようにとあなたを召しておられます。ですから、この神の働きの中で自分の占めるべき場所はどこか、これを理解することが重要です。

今朝、石川曹長が将来について祈ってくださいました。私たちの将来には神の計画がある、と。日本での救世軍における神の計画はまだ完成していないのです。こう言うことが適切かどうかわかりませんが、皆さんに課せられている責任は、今まで以上に大きいのです。というのは、今の時にこそ、神はあなたを召しておられるからです。問題は、私たちがそれに進んで参加する気持ちがあるかどうか、ということです。

私たちは個人の生活の中で、神に召された生き方をするようにしていったらいいのでしょうか。私たちはキリストにあつて、本当に豊かな命を得ることができません。しかし聖い民として生きるためにはどうしたらいいのでしょうか。世の光、地の塩として、どのように人と関わったらいでしょうか。このことは神の御心に對して、私が応答することから始まります。

主によって救われ、恵みに保たれているということ、誰かに証しするために遣わされていきます。神はこの世界で善をおこなう力として私たちに恵みをおられます。私の人生に恵みを注いでくださっている神は、この恵みをほかの人に流し出していくように、と私を召しておられるのです。神は今、救世軍をもう一度引き上げ、そのために用いようとしてくださっています。

今朝、皆様にチャレンジしたいと思えます。皆様に申し上げます。日本で救世軍に与えられた神の使命、これは本当に重要です。神は私たちすべての人を必要としておられます。造り変えられた存在として、この世界に革新をもたらす力となるために。神はすべての人を必要としておられます。神のために声をあげるために。私たちの、この世とは異なる生き方を通して人々が神を見ることができるようになる。無私の心で犠牲的に人に仕えるために。そのことによつて、私たちは神に栄光と誉れを帰すのです。

今朝、皆様にチャレンジしたいと思えます。皆様に申し上げます。日本で救世軍に与えられた神の使命、これは本当に重要です。神は私たちすべての人を必要としておられます。造り変えられた存在として、この世界に革新をもたらす力となるために。神はすべての人を必要としておられます。神のために声をあげるために。私たちの、この世とは異なる生き方を通して人々が神を見ることができるようになる。無私の心で犠牲的に人に仕えるために。そのことによつて、私たちは神に栄光と誉れを帰すのです。

救世軍はキリストの教会の枝の一つです。ある作家が「教会は人々で満ちている。イエス・キリストの福音を伝えるために、どこにでも遣わされて行き、どんなことでもやつていく人々で。」私は大将として、ここにおられる皆さんがそういう人々になつてくださるよう求めます。神は日本での救世軍を祝福してくださいませ。主の御心に私たちが応答できるように助けてくださいませ。そして、本当に聖書が靈感された神の御言葉であるということ信じさせてくださいませ。

きょう、ペドロの手紙一を読みました。ここで、神は本当に私たちに求めておられます。目を覚まし、心を引き締めていなさい、と。恵み待ち望み、主に従順な子でありなさい、と。そしてこの世界がどんなことを言ってきたとしても、この世と妥協してはならない、と。何にも増して、私たちが聖められた民となることを求めておられます。すべてのことにおいて聖い生き方をする、あなたの存在そのものが聖いものとなる。そして、人生の歩みのすべての局面において、聖い生き方をする。なぜなら神が聖いお方だから

きょう、ペドロの手紙一を読みました。ここで、神は本当に私たちに求めておられます。目を覚まし、心を引き締めていなさい、と。恵み待ち望み、主に従順な子でありなさい、と。そしてこの世界がどんなことを言ってきたとしても、この世と妥協してはならない、と。何にも増して、私たちが聖められた民となることを求めておられます。すべてのことにおいて聖い生き方をする、あなたの存在そのものが聖いものとなる。そして、人生の歩みのすべての局面において、聖い生き方をする。なぜなら神が聖いお方だから

きょう、ペドロの手紙一を読みました。ここで、神は本当に私たちに求めておられます。目を覚まし、心を引き締めていなさい、と。恵み待ち望み、主に従順な子でありなさい、と。そしてこの世界がどんなことを言ってきたとしても、この世と妥協してはならない、と。何にも増して、私たちが聖められた民となることを求めておられます。すべてのことにおいて聖い生き方をする、あなたの存在そのものが聖いものとなる。そして、人生の歩みのすべての局面において、聖い生き方をする。なぜなら神が聖いお方だから



救世軍人の皆さん。どうか雄々しく、勇気を出してください。神は皆様の前に大いなる収穫の時を用意しておられます。ですから、私たちはその招きに応答しましょう。神の召しに従っていきましよう。そして、勇気を出して、この世界に遣わされていきましよう。

そして、目を開いて見なさい、神があなたの人生において、あなたを通して何をすることができかを。それを見て、他の人たちがイエスを信じていることができないようになるのです。

私は大将として信じます。この召しこそ、今日、教会に与えられた最も重要な召しであると。そして、この召しこそが救世軍に与えられた召しであると。

そこに民の応答が書かれています。どうか、そこに書かれている同じ応答を、日本の救世軍人の皆さんがしてください。想像してみてください。イスラエルの民は神の前に立っています。そして、このように言ったのです。「我々は、御命令を行います。遣わされる所にはどこへでも参ります。」

皆さん、重要なことは変わりません。神はそういうふうに御前に立つ人々を求めておられるのです。私たちは全身全霊をもって自身を主に献げましよう。「あなたが命じられることをどのようなことであつても、私は行います。あなたがどこに遣わされようとも、私は行きます。」

えているか、私にはわかりません。しかし、一つわかりなことは、そのような招きに神の民が「はい」と言う時奇跡が起きるということです。今、日本において、救世軍は今まで以上に士官を必要としています。今、この日本において、今まで以上に兵士を必要としています。今、この日本において、神の御前に聖い民を必要としています。そして、そのことは、私たちが神に対して、「はい」と応答する時に実現するのです。主なる神は私たちが主のために大事なことをするようにと求めておられます。そして神は言われます。「恐れるな、勇気を出しなさい。私があるたと共にいるから」と。

手短かに三つのことを皆さんに申し上げます。私たちは父なる神との関係に入れられています。皆さん、イエス・キリストを信じた最初の時のことを思い出してください。ロザリー中将の場合、イエス様を信じたのは七歳の時でした。だいぶ昔のことです。皆さんも同じ経験をされたでしょうか。また、イエス様を信じたばかりの方もいるでしょう。

まず申し上げたいのは、神があなたを贖われたことに目的がある、ということ。私たちが生きています。かぎり、その目的は変わりません。それは、あなたが神のご計画のために用いられるようになるということです。ですから、だからあなたの救いはとても重要です。それは本質的なことです。しかし、いつの日か父なる神の御前に立つときまで、あなたの奉仕もまた重要です。贖われたことには目的があるのです。

そして二番目のポイントは、私たちはキリストのために本当に身を献げる人が必要だということです。神の軍隊に加わる人が必要です。世界を救うというキリストの目的のために身を献げる人が必要です。ですから大将は、心から手を上げる人を求めます。全身全霊をもって「はい」と言う人を求めます。そして、神の奉仕に身を献げる人を求めます。

まりません。私の家族の中でまだ救われていない人のために涙をもって祈ります。また、まだ救われていない隣人のために涙を流して祈るのです。そして、日本の国のために涙を流して祈るのです。神の聖い民は、神の御声を聞くのです。私は祈ります。どうか私たちがそういう聖い民になれるように。これはチャレンジですね。本当に困難に感じると思っています。時に、不可能ではないかとさえ思います。しかし、忘れないでください。「わたしは……あなたを見放すことも、見捨てることもない。」「わたしの恵みはあなたに十分である。」

そしてもう一つは、毎日、それをおこなっていく、神のために生きていくということ。神と私たちの関係は、自分が贖われたという感謝にあふれるにとど

さんが生きるこの世界において神の民なのです。今、この時、私が皆さんにするチャレンジは、はつきりさせるように、ということ。このコロナ禍にあつて、私たちは多くを失ったが、神に対する信仰を失っていない、と。そして私たちの献身は以前よりも強くなった、と。そして人生のあらゆる領域において神に対して「はい」と申し上げる、と。そうすることを神は可能にしてください。そのような真実な姿に神は応答してください。皆さんが真実であることを祈ります。

「目をあげて見よ イエスキみのみかお 世につける 思いきえ めぐみ満ちあふれる」のコーラスを歌いましょう。神の恵みに勝るものはありません。

きょう、距離を保って集会をしています。会場の前列目二列目が恵の座として用意されています。皆様を恵の座に招くことができます。主の約束を信じましよう。神は、神の民の祈りを聞いてくださる神です。

連載 聖潔の流れに立つ 第二十四回

ジョン・ウエスレーの聖潔 — 心うち燃えて —

少佐 丸畑 幸夫



〔承前〕カルヴァンの予定論が貴族的であったのに対し、ウエスレーは平民的立場を好んだ。またカルヴィニストの中にも、聖霊の満たしを強調する者がかなりいた。また、カルヴァンは「信仰は敬虔な感情を伴わなければならない」「信仰は神の恵みによって与えられるものである」とも言っている。

『キリスト教綱要』中に記されたものを要約するならば、私たち救世軍人の信仰とほとんどが共通している。(教会論や礼典論や予定説は別として)。「価値のない者、身分不相応の者が、ただ信仰によって受け入れられた」と、神の恵みを説いている点は同じである。

それでは、共通しない部分は何か、と問われるならば、恩寵信仰の強調から来る「予定論」等である。実際、予定があるということは聖書の教えであるし、穏健なアウグステイヌスも「救いへの予定はあっても、地獄への予定はあり得ない。神は救いに至らぬ者を予見はするが、人は聖められた自由意志によって、世界における神の計画に参与する光栄を獲得する」と自由意志を強調している。不敬虔な人間中心の自由意志は別として、善いわざに対する人の自由意志の湧き出る源は神の中にあつて、人の中から出るものではない、とアウグステイヌスは言い、彼は人間の意志を、乗りの命令に服従する馬にたとえている。

ある者は永遠の命に、ある者は永遠の破滅に予定されているとの学説を立てることは、神学的割拠主義であつて、福音をねじ曲げてしまうことになる。アルミニウスが指摘しているのはこの点である。個人の救いはいつも信仰によるものであつて、聖定によるものではない。聖書の予定論を大切にしたアルミニウスは、カルヴァンの割拠主義的神学には反対した。

ウエスレーもウイリアム・ブースもアウグステイヌスも、道徳上の責任は個人にあることを教えている。

限られた数の者だけが選別に与るとする「選別の理論」のために、キリストから離れるとしたら、これは大問題である。あくまでも「恩寵信仰」に立つて、自由意志を尊重し、神の「万民」への普遍的愛を信じるのが、我々の立場である。そういう意味で、ウエスレーは新しい神学を提唱したのではないことがわかる。新しい光によって「神の選び」を見たのである。

カルヴァンのピューリタン思想とメソジスト思想とは、外に現れる生活を見ると、実際的にはあまりかけ離れたものではない。

二、ピューリタンの「聖化」とウエスレー的「聖潔」の違い

ウエスレーの家系が、「国教会的な系譜」の中にあることは前述のとおりであるが、清教徒の影響の強い親族であつたことも知られている。

しかし、ウエスレーの「聖潔」とピューリタンの言う「聖化」とは違ったものである。

ウエスレーの母スザンナは、ことにピューリタニズムの影響を受けていて、家庭の宗教教育は徹底していた。彼女の書いたものには、方法、訓練、義務、理性、良心、体験、きよめというようなピューリタンの特徴用語が多く見られる。

ピューリタンの運動は、聖書に基づく純粋な信仰によって教会を刷新しようとするものであつた。また、

イスラエルの神に対する確信から必然的に生まれたものである。彼らはおおむねカルヴァン主義に立つものであり、「清い生活」「聖書的生活」「社会風紀を厳しく守る生活」などを大切にしていた。したがって、モーセの律法などを重んじ、清貧に甘んじて、簡素な生活をするをもつて、「聖化」への道程と考えた。

ウエスレーも青年時代に自分が比較的完成されたクリスチャンである、と自認してゐた。すなわち、「Almost Christian」の意識をもつてゐた。ピューリタンが、聖書的な根拠に立っている場合は問題ないのであるが、国教会からの分裂をはかり、王党派の軍隊と交戦し、王を処刑するなど、政治的集団となつてしまつた時、「聖化」の概念が変わつていくのである。

『エデンの東』という映画があるが、ピューリタンの終焉を描いている。偽善によるクリスチャン家庭の悲劇が表現されている。しかし、ピューリタンのすばらしさを私たちは見落としてはならない。

今もその後裔はアメリカにおいて残されているだけでなく、実に清潔な聖書的生活を送っていることを私たちは知っている。これは評価されるべきものである。日本にもその影響は残っている。ピューリタンの信仰に生きた人たちが、その名称が現れる以前にも存在したし、その名称が使用されなくなつた今に至るまで存在を続けている。それでは、ピューリタンのどんなところが評価されるべきかを記してみたい。それとともに、私たちが「聖潔」と称していることとの違いに触れてみたいと思う。

(続く)

2月・スチュワードシップ月間

「管理者に要求されるのは忠実であることです。」
(コリントの信徒への手紙一 4章2節)

兵士献身サンデー 2月5日

集会 報告

ブライアン・ペドル大将、ロザリー・ペドル中将 来日の諸集会 西日本連隊連合集会 2022年11月18日(金)午後5時 全国士官会 11月19日(土)午後2時

●西日本連隊連合集会

スイスホテル南海大阪「孔雀」を会場に、ブライアン・ペドル大将、万国女性部会長ロザリー・ペドル中将、司令官スティーブン・モーリス大佐、軍国女性部会長ウェンディ・モーリス大佐、書記長官西村保大佐補、軍国女性部書記西村和江少佐、通訳者や本営のスタッフを迎えて、おこなわれました。

定刻15分前から、野本亮一ワーシップ軍曹(神戸)と立石和奏兵士(神戸)が賛美タイムを導きました。「鹿のように」の歌声が響く中、大将夫妻と軍国リーダーが入場。集会は書記長官の司会で進められました。会衆一同で『救世軍歌集』172番「み神のあわれみにより」を力強く賛美し、池田孝之特務曹長(天満)が開会祈禱を献げました。大将夫妻に西日本連隊を訪問した気分になっていただこうと、連隊内のすべての小隊紹介動画が流れました。西日本連隊長鈴木智博大尉が、西日本連隊へ世界の救世軍のリーダーを迎えた喜びと感謝の言葉を述べ、司令官が大将夫妻を紹介しました。続いてロザリー中将は、「コロナでなかなか海外訪問ができず、今年1月からようやく再開できた。日本は19カ国目。神の助けは必要を満たしてくれる」と満面の笑顔で勧話をしました。

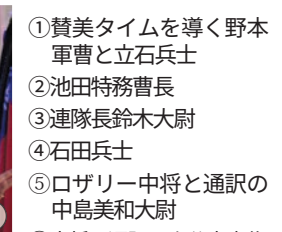
『救世軍歌集』24番「東からも西からも」を賛美したあと、石田知恵子兵士(泉尾)がペトロ1:3~9を朗読し、大将は「信仰を喜び祝う」と題してメッセージ(要約右記)。続いてコーラスを歌いながら祈りの時が導かれ、会場は祈りの霊で満ち溢れました。最後にウェンディ大佐の祈禱で閉会しました。

コロナの第8波が懸念される中、また、小隊近隣を離れた土地での集会でしたが、事前申込制を導入し、受付で係による検温と手指消毒を徹底し、駅での案内もおこなうなど、対策とその実施を入念にし、クラスターの発生もなく、祝福のうちに集会を終えることができました。

(会衆84人)

●全国士官会

大将の指揮で、日本教育会館一ツ橋ホールでおこなわれました。書記長官が司会をし、高崎小隊士官細貝信義大尉と静清小隊士官熊田光子少佐が祈りを献げました。東京東海道連隊長石川和男少佐が歓迎の言葉を述べ、帯広小隊士官樋口潔中尉が帯広小隊百周年記念特別集会の恵みを証言。ロザリー・ペドル中将は神は真実なお方であることを証しし、続いて大将は「この時のためにこそ、あなたは王妃の位にまで達したのではないか」というエステル4:14の言葉を引用しながら、「仕える備え」と題して、今この時代に召された者として士官の誓約をもう一度新たにしよう呼びかけました。それに応答し、多くの士官が再献身の祈りを献げました。(会衆112人)



- ① 賛美タイムを導く野本軍曹と立石兵士
- ② 池田特務曹長
- ③ 連隊長鈴木大尉
- ④ 石田兵士
- ⑤ ロザリー中将と通訳の中島美和大尉
- ⑥ 大将と通訳の山谷真少佐

[大将メッセージ要約]

西日本連隊の皆さんと共に過ごせることを感謝する。きょう、申し上げたいことは神は決して裏切らない、ということ。ペトロ1:3~5の御言葉は若い士官であった私の心に差し込んできて、3つの重要なことを教えてくれた。第1は、私の希望は私が生きているこの世にあるのではなく、復活なさったイエス・キリストにある。第2は、私が受け継ぐべき相続財産はこの世にはない。天に備えられている。第3は、神が与えてくださったこの信仰が盾となって私を守ってくれる。どの時代にもまさって、今この時にこそ、この3つの教えが重要で、きょう皆さんにもお伝えしたい。コロナ禍にあっても皆さんが忠実な奉仕をしてくださったことのゆえに感謝を申し上げる。お一人おひとりが主の宝物である。私たちが神に信頼する時、希望をイエスに置く時に驚くべきことが起こる。神の手は最も困難な状況の上に置かれ、なお祝福を与えてくださる。

エフェソ3:14~19が皆様への祈りである。神の計り知れない愛が今注がれている。十字架に架かり、復活なさったイエスが、再び戻って来られる日が来る。私はそのことを期待して生きていく。私たちには、神が心に植え付けてくださった信仰という豊かな相続財産がある。イエス・キリストに自分自身を結び付け、もう一度生き生きとした信仰をもとう。私は今、皆さんを召し出したい。希望に生きる民として、神の豊かな憐れみに生きる民として。そして勇気をもって神のために立つ民として。神が与えてくださった情熱を燃やす民として。大変なことはこれからもあるだろうが、神は決してあなたを見捨てず、裏切らない。いつも「私のもとに来なさい」と招いてくださる神のもとへ行こう。信じて、祈り、日々神と共に歩み続けよう。

集
会
報
告ブライアン・ペドル大将、ロザリー・ペドル中將 来日の諸集会
ゴスペル・オータム・コンサート 2022年11月19日(土)午後5時30分
連合聖別会 11月20日(日)午前10時

●ゴスペル・オータム・コンサート

会場は日本教育会館一ツ橋ホール。ゲストに堀井ローレンさんを迎え、ブライアン・ペドル大将がメッセージしました。入場は無料(事前登録制)で、救世軍人が自分の家族・知人・友人を誘い、伝道の機会となるよう計画されました。当日は、救世軍人、他教会の方、またノンクリスチャンの方々も集いました。司会は仙台小隊士官眞鍋恵中尉。救世軍の説明をし、ゲストを紹介しました。堀井ローレンさんと、このために結成されたスペシャルバンドが「なんて美しい名」「O Come To The Altar」「感謝せよ」「あなたをたたえ」と4曲を続けて賛美しました。力強い賛美と祈りに、胸が熱くなり、力を得る時でした。続けて、吉田慎也候補生が証言をし、「刑務所の中でイエス様と出会い、人生が全く変えられ、今がある」と力強く語りました。ペドル大将がイザヤ書6：1～8よりメッセージをし(要約8ページ)、万国女性部会長ロザリー・ペドル中將が祈りを献げました。アンコールに再び堀井ローレンさんが登場。「天のように」を賛美し、コンサートを終えました。



①②賛美するローレンさん ③眞鍋中尉
④吉田候補生 ⑤メッセージを語るペドル大将

今回、皆で祈り、賛美をすることで得られる力を再確認する時となりました。参加者から、もっと賛美したかった、これからも自由に賛美ができる機会を大切にもち続けていきたい、という声が聞かれました。この声を次に繋げていきたいと思っています。(聴衆 175人、青少年部報)

●連合聖別会

共立講堂で、大将指揮でおこなわれました。会場には各地からの戦友が集い、久しぶりの再会を喜ぶ姿がありました。10時からのミュージックタイムではジャパン・スタッフ・バンド(JSB)と帯広小隊士官樋口光世中尉のピアノ演奏で礼拝への思いが整えられました。JSBは、コロナ禍の3年間の活動制限を経て初めてのフルバンドでの演奏となりました。

スクリーンと会場を合わせたタンバリン操練「朝日かがやく」がなされる中、大将夫妻が入場。司会の書記長官西村保大佐補は会衆を歓迎し、無事に大将夫妻が来日されたことを感謝しました。上野小隊の石川里志曹長が開会祈祷を献げました。司令官スティーブ・モーリス大佐が大将と万国女性部会長ロザリー中將を歓迎し、大将は挨拶に続いて、佐野小隊の小林千夏さんの兵士入隊式を司式しました。兵士の誓約を確認し、祈り、世界で最も新しい救世軍兵士を歓迎しました。(1面に写真)

続いて子ども番組「しもべあの大冒険」のペーくんときまりちゃんが登場。子どもたちに語りかけるとともに、ロザリー中將を紹介しました。ロザリー中將は、子どもたちが一緒に参加していることを喜び、神がいつも私たちのそばにおられ、愛し、私たちのすべてを知ってくださること、ローマ8：31～39の御言葉は真実であることを証しました。その後、子どもたちは2階ホールでの「日曜学校スペシャル」のプログラムに参加しま



①司会の書記長官
②JSBの演奏
③石川曹長
④歓迎を述べる司令官
⑤大里書記 ⑥ロザリー中將

した。桐生小隊の大里忠弘書記がペトロ1：13～16を朗読し、JSBの合唱に続いて、大将は「聖さへの招き」と題しメッセージをしました(3、4ページに掲載)。続く祈りの時も祝福されました。

(会衆 290人、恵の座 16人、オンライン視聴 12月13日現在 1188回)



大将来日の諸集会 アルバム



西日本連隊
連合集会



←メディア
スタッフ



ゴスペル・
オータム・
コンサート



←
連合聖別会での祈りの時



〔ゴスペル・オータム・コンサート 大将メッセージ要約〕

すばらしい賛美と証言を感謝いたします。今晚、旧約聖書に書かれた、イザヤという人のことをお話します。イザヤ書6章1～8節。イザヤは国の困難、災難に次々と遭いましたが、そういう状況のただ中で、彼は神を見ました。これは皆様にとってヒントになるかもしれません。人生がどうなるかわからない不安な状況にも神はおられます。困難な状況の中でイザヤは全能の神を見、神の聖さというものを見、御座におられる神の栄光を見たのです。その光に照らされて、自分の姿へと思いが返ってきました。イザヤは神の聖さを見たことによって、「ああ、わたしはひどい有様だ。自分の罪を告白しなければいけない」とわかったのです。罪を告白し、赦され、聖められたいと思いました。そして、神様は赦しを与えてくださいました。さらに、神は、イザヤを用いるという召しをお与えになったのです。そしてイザヤは神によって遣わされていきました。これはすべて、イザヤが神を見て、自分の罪を自覚したその結果です。

イザヤが経験したことは、過去のものではありません。きょうも神はここにおられます。今、世界は困難の中にあり、コロナは今も影響を及ぼしています。しかし、神は私たちから遠くにおられるではありません。神は私たちが祈る時、覚えてください。イザヤは、自分は本当に神を必要としているという自覚の中で祈りました。今晚、神に出会う必要のある方がおられるかもしれません。私たちが本当に目を天に向けて、神を求めらば、神はご自身を現してください。そして私たちは赦され、聖められ、神の力が私たちの人生に注ぎこまれてきます。イザヤのように「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください」と言う時、神が私たちを用いてください。

今晚、皆様への祈り、日本への祈りとして歴代誌下7章14節の御言葉^を差し上げたいと思います。福音とは、すべての人にとっての良い知らせです。わたしは主を見ました。あなたも見ることができます。神の祝福がありますように。

集会報告

召天者合同記念会

2022年10月8日(土) 午後2時 多磨霊園

今年、出席者を限定して対面での開催となり、この5年の間に納骨された方、また召天者の納骨手続きをされているご遺族をお招きしました。士官墓所前での記念会開始前には、救世軍人墓地、社会部墓地において花を^{さか}んげ、先に召された方々とそのご家族を覚え、^{いのち}祈禱を献げました。

定刻、杉並小隊士官山谷昌子少佐のキーボードと有志によるバンド演奏で開会。伝道事業部長山谷真少佐が祈禱を献げ、司令官スティーブン・モーリス大佐が開会の辞を述べました。社会福祉部長石川一由紀少佐が召天者名簿を朗読し、軍国女性部会長ウェンディ・モーリス大佐が代表で献花しました。司令官は詩編34:18～21より、「心痛める者の近くにおられる主」と題し、イエスは死の力に打ち勝つお方であり、イエスを信じる者たちに死を超える希望と平安を与えてくださることをメッセージしました。遺族代表として、張田和子中將が挨拶をし、集会を閉じました。天候も守られ、一同で召天者を偲び、天国への希望を新たにする恵みの時となりました。(参列者86人)

午前中には、救世軍人墓地にて1人、士官墓所にて3



①有志によるバンド演奏 ②メッセージする司令官
③代表献花をするウェンディ大佐 ④張田和子中將

人の方の納骨式がおこなわれました。各納骨堂は午後4時まで開錠し、ご家族が墓参されました。なお青山霊園立山墓地での集会は中止でしたが、清掃及び花を献げ、召された方々のご家族を覚えて祈禱を献げました。



↑大将夫妻と、小林千夏兵士



←同時におこなわれた「日曜学校スペシャル」のひとこま



連合聖別会

←戦友方と親しく挨拶し語り合う大将夫妻



NEWS!! NEWS!!

各地のニュース!!

京都小隊

●アーサー・ホーランド ブッシングタイム

2022年7月30日(土)、エム・エー・ジー主催で午後2時から京都小隊会館にて開催しました。アーサー・ホーランド師は、十字架行進(2200km)を7月28日に終えた直後で、今回、60人以上が救われて洗礼を受けた、どのうれしい報告をしてくださいました。その後、アーサー師の長女で、ゴスペル・アーティストの堀井ローレンさんによる賛美と証言、元暴力団組長の回心の証言、そして、アーサー師のメッセージがありました。今回も数人の方が、イエス・キリストを救い主として受け入れました。(聴衆44人)



●召天者記念聖別会

9月25日(日)午前11時より小隊長 粟飯原順大尉の司式でおこないました。繁田凧さんのピアノ伴奏に合わせ粟飯原由美子大尉が召天者名簿を朗読、ヨハネ14:1~6より「天に至る道」と題して粟飯原順大尉がメッセージしました。聖別会后、小隊隣「ワンドス写真館」の武田定師さんによる写真撮影に続いて愛餐会をおこない、先に召天された方々の追憶の時をもちました。岡山県から宮原忠雄さん、佳子さん親子が出席され、久々の再会を喜びました。(会衆17人)

●丹後分隊 分隊長70年勤続章授与

9月19日(月・祝)、丹後分隊の家庭礼拝の中で、木本定治分隊長の70年勤続章授与式をおこないました。分隊長による開会祈祷の後、50年章に銀のバーが4本ついた70年勤続章と証書が渡されました。粟飯原順大尉がマタイ19:13~15から、「最も小さい者を祝福するイエス」と題してメッセージをしました。集会には、夫人の美代子兵士、また、70年間にわたって分隊長を支えてくださった、木本正久さん、田宮清美さん(共に70年以上前からの日曜学校の生徒)も参加してくださいました。授与式の後、分隊長の95歳の誕生日をお祝いし、田宮清美さんが用意くださった丹後寿司を堪能しました。(出席者8人)



函館小隊

●召天者合同記念会、墓前礼拝

2022年10月2日(日)、函館小隊会館において連隊長 石坂臣司少佐の司式で召天者合同記念会をおこないました。聖別会后、墓地に移動して墓前礼拝をしました。(会衆7人)



前橋小隊

●バザー

10月8日(土)、9日(日)、地元の「前橋まつり」が開催されるのにあわせて、3年ぶりに前橋小隊バザーを開催しました。晴天に恵まれ、楽しみにして下さっていた常連客など多くの方々が利用され、地域との良い交流の時となりました。

なお売上の一部を、ウクライナ支援に献げました。



グレイス ●開設 27 周年記念集会

2022年10月3日(月)、書記長官西村保大佐補、軍国女性部書記西村和江少佐を招いてグレイス開設27周年記念集会をおこないました。コロナの影響でこの2年は感謝状のみを渡していましたが、3年ぶりに通常の形でおこないました。

集会の中で永年勤続感謝状を12人にお渡ししました。書記長官はマタイ25:34～40より「わたしにしてくれたことなのである」と題して職員へ励ましのメッセージをしました。(出席者40人)



長野分隊 ●感謝の集い

2022年10月9日(日)、長野分隊の歴史を振り返り感謝の集いをおこないました。開戦60年を迎える今年、神様を見上げて信仰生活を歩み続ける幸いを覚えて一日

を過ごしました。霊的生活成長部長中島美和と大尉が出陣し、午前10時より感謝聖別会、近所のお蕎麦屋さんでの感謝昼食会をし、午後は長野小隊同窓会として関係者を交えて賛美と証言の時をもちました。

大勢の方々にご案内を差し上げたいところでしたが、コロナ禍の状況を鑑み、分隊に属するメンバーと話し合いを重ねて、当日は感染対策を講じて開催できる人数に絞りました。(会衆20人、恵の座3人) 長野分隊に思いを寄せてくださる大勢の方々に、心より感謝申し上げます。

(連隊報)



浪江小隊 ●小隊会館解体式

11月2日(水)午後3時より、書記長官西村保大佐補の出陣で、連隊内の士官及び浪江小隊関係者が集っておこなわれました。建物取り壊しの時期はまだ先の予定ですが、震度4以上の地震が度々起き、壁の亀裂も広がっている現状で、会館の形をとどめている間に記念の時をもつこととなりました。式は小隊前で短時間でおこない、その後「福島こいの村なみえ」にて、70年の歩みを感謝する感謝会と夕食会の時をもちました。

3日(木)は、震災遺構・浪江町立請戸小学校と、東日本大震災・原子力災害伝承館を訪れ、被災地の様子を学びました。(参加者23人)



杉並小隊 ●森の音楽会

10月23日(日)、午前の聖別会を終え、11時30分から、ブースの森で秋の「森の音楽会」を開催しました。杉並小隊バンドが「主われを愛す」「アメイジング・グレイス」など有名な賛美歌や、クラシック音楽で賛美歌としても使われている曲を演奏しました。司会とメッセージは東京東海連隊長石川和男少佐。マタイ11:28～30より、聖書の言葉が自分自身に語りかけられた経験を通し、生きておられる救い主イエス様についてメッセージしました。



NEWS!!
NEWS!!

各地のニュース!!

横浜小隊

●グランドピアノ献納

2022年11月13日(日)、横浜小隊聖別会に司令官 スティーブン・モーリス大佐と軍国女性部会長 ウェンディ・モーリス大佐を迎え、席上、グランドピアノの献納式がおこなわれました。司令官の献納のメッセージと祈りの後に、浅野あゆみ兵士によって『救世軍歌集』100番「主のみ救いかぎりなし」と1番「輝く日を仰ぐとき」の演奏が献げられました。出席者一同がピアノの献納を喜ぶとともに自分自身を神に献げることの大切さを確認する恵みの時となりました。ハレルヤ。



札幌小隊

●職員永年勤続章

11月6日(日)、社会福祉部長石川一由紀少佐の出陣で聖別会を守りました。席上、札幌の3つの保育園職員の永年勤続章授与式がおこなわれ、40年の勤続章を1人、20年を1人、10年を3人の職員が受けました。長年のお働きに感謝を表し、保育園の働きを覚えてあらためて祈る時となりました。



聖別会に集った皆さんで

女性部

●NewHope 麻布カフェ

11月29日(火)、10時半より、女性部主催の「NewHope カフェ」の特別レッスンとして、クリスマスリースづくりをしました。初めての方を含め12人が参加され、フローリストイトウの伊藤義明さんの指導で、緑の枝物のさわやかな香りを楽しみながら作成しました。女性部のスタッフもサポートしながら、和やかな交流の時となりました。最後にウェンディ・モーリス大佐が短くメッセージをし祈りました。クリスマスに向け、恵みのひと時となりました。



上げます。そして、多くの協力者と多くのお客様に出会わせてくださった神様に感謝します!(ゴスペルハウス報)



ゴスペルハウス ●手仕事マルシェ第3回

12月1日(木)、本営前にて開催されました。北海道から九州までの20小隊1施設の33人が制作した手芸品が、684点集められました。今回は、関東東北連隊の皆様のアップサイクル(創造的再利用)の作品、エコクラフトのリースなどSDGsの作品が多く集められました。本来捨てられるものに命が吹き込まれ、人を喜ばせるという素晴らしい取り組みです。その他、新生寮の方々の機織りランチョンマットや、革製品、クリスマスカードなどのステーションナリー、アクセサリー、ポプリなどのバラエティーに富んだ作品が並びました。準備の際には、スタッフが、祈りつつ一点一点の作品に聖句カードを付けました。

開催当日は、最高気温10度と寒い日でしたが、141人の方が買い物を楽しまれました。全国の救世軍人が一致したときに、聖霊が働かれ、地域にインパクトを与えるということを体験しました。なお、利益は、ウクライナ難民支援のために役立てられます。

全国の制作者の皆様とお祈りくださった方々に心より感謝を申し



YP (青少年部)・ファミリーニュース

しもべあ、宮崎へ

●ラブ・ソナタ宮崎へ出張

11月2日(水)、3日(木・祝)、「ラブ・ソナタ」(超教派の伝道集会)が、今年は宮崎市でおこなわれました。これは韓国のオンヌリ教会が日本宣教のために年に1度おこなっている集会で、クリスチャン・アーティストの賛美、福音メッセージを通して、その地域に伝道を伝えるものです。ペーくんは2日間、会場で来場者を歓迎して交流の時をもちました。子どもたちとふれあい、「みことばカード」を配りました。また、ゲストの福音歌手森祐理さんに会ってお話を聞くこともできました。



この様子は、青少年部 YouTube チャンネル「しもべあの大冒険」#84で見ることができます。

佐野小隊 ●朝食会

佐野小隊青少年部で、「佐野こどもクラブ」の土曜日利用者のために、毎月一回、土曜日の朝8時から朝食会をしています。2022年11月5日、12月3日は、園庭のウッドデッキで、メスティンを使って調理する「キャンプ飯」に挑戦しました。11月は子ども6人、大人6人、12月は子ども11人、大人5人で楽しく食べました。



医療部、青少年部 ● ユナイテッド uniTed2022

11月5日(土)、東京基督教大学を会場に、超教派の青年宣教大会「uniTed2022」が開催されました(お茶の水クリスチャンセンター、東京基督教大学共催)。各教会・教団で次世代を担う青年たちが具体的な将来のビジョンを描く助けになることを願っておこなわれた大会です。プログラムの一環として、各教団・団体のブース出展があり、救世軍からも医療部が各病院、施設の働きを紹介しました。



救世軍の「恵の座」の意義を知り、神の恵みと一人ひとりの献身を確認し、これからも恵の座を大切にしながら事務所として利用する、との言葉をお聞きしました。九キ災の働きのためこれからもお祈りをお願いいたします。(出席者23人)



災害対策室レポート

■「九州キリスト災害支援センター」大牟田事務所開所式

旧大牟田小隊会館(福岡県大牟田市)は、隣接地と合わせて「九州キリスト災害支援センター(九キ災)」の活動に貸し出すことが決まっております。2022年11月11日(金)午前11時より、旧大牟田小隊会館にて、九キ災事務所の開所式がおこなわれました。九キ災理事長の横田法路師をはじめ、災害を通して形成された「有明広域宣教ネットワーク」の関係者、救世軍からの出席者が集いました。

有明広域宣教ネットワークから田中文人師が、災害の痛みを経験したが、それを通して教会のネットワークが形成された恵みを、救世軍からは社会福祉部長石川一由紀少佐が、大正5年に始まった大牟田の地での救世軍の活動と、今、地域社会とキリスト教会をつなぐ働きにこの会館が用いられるに至った恵みを証しました。地域の牧師の中には、大牟田小隊の日曜学校で信仰に導かれた方もあり、祝福の基として用いられてきた歴史を改めて知ることができました。九キ災、有明広域宣教ネットワークから、



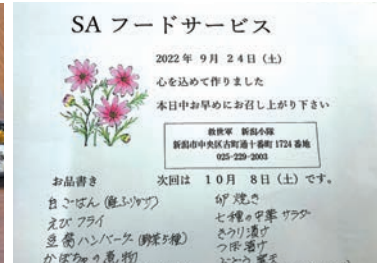


社会鍋による支援 新潟小隊

● SA フードサービス

地域の高齢者の方を対象にフードサービスの働きを始めました。2022年3月に試食品15食をつくり、地域の方のご意見と反応を受けて、4月から正式にスタートしました。月に2回土曜日、一食300円で25食ずつ提供しています。当初は「SA ランチサービス」の名称でしたが、夕食に食べたいという希望が圧倒的に多く、「SA フードサービス」と名称を変えました。

前日の下準備から始まり、当日はボランティア5～6人が、午後1時に新潟小隊に集合してお弁当づくりを始



め、3時から平均15件に配達しています。

毎回メニュー会議をして、季節の物を取り入れ、できるだけ火を通し、品目を多く、見栄え良くまとめています。会館建て替えの際にキッチンを整え、地域に向けてこのような「食」の支援をしたいと戦友と共に祈り願っていました。コロナ禍を超えて実現に至り感謝しています。

救世軍見解表明

社会道德に対する救世軍の立場 第8回「難民と庇護希望者」(2)



見解表明の背景と状況

(承前)「誰でも……人種、宗教、国籍、特定の社会グループのメンバー、または、政治的意見をもつメンバーであるという理由で、迫害を受ける恐れがある人が、自分の国籍の国の外にいて、国籍の国の保護を受けられない、または、様々な恐怖のために、保護を受けたくないと思う人。」

難民に与えられる保護は次のようなものです。今いる所から追い出されない権利、仕事、住居、教育、公的扶助に関する権利、移動の自由、宗教の自由。

通過国に滞在している人々には特別な困難があります。通過国が1951年の条約に調印していない国であった場合には、人々は苦境に陥るのです。

救世軍の立場の土台となるもの

救世軍は、人の命が神にかたどって造られたものであり、大切にし、育て、贖われるべきものであると信じています(創世1:27)。人の命の尊厳を思えば、私たちはすべての人を尊く扱うことになります。命の尊厳は、市民権、人間の選択、窮状などによって与えられたり、与えられなかったりするものではありません。命の尊厳は、すべての人がもって生まれたものなのです。

聖書は、神は愛と憐れみの方である、と示しています。神の愛と憐れみは、すべての人に及び、外国人や、見知らぬ人からのケアを受けなければならない状況にある人々のためにも注がれているのです。

昔のイスラエルの民の隠れ家、避難所、供給してくださる方、慰め主であった神は、民が自由と安全を求めて脱出したことを忘れず、困窮している他の人々を喜んで迎え入れるべきだ、と言われます。「あなたたちの神主は……孤児と寡婦の権利を守り、寄留者を愛して食物と衣服を与えられる。あなたたちは寄留者を愛しなさい。あなたたちもエジプトの国で寄留者であった」(申命10:17~19)。

外国人に愛と憐れみの思いをもって接し、必要なものを分かち合うだけでなく、彼らを隣人として迎えるべきです。イスラエルの民は、近隣に住む人々が、自分たちとは異なる背景や文化や宗教をもつ人々であったとしても、自分たちのうちの土地に生まれた者同様に愛するように、という神の掟を与えられていました(レビ19:33, 34)。イエス・キリストは私たちに、神を愛し、隣人を愛するように、と教えられました(マタイ22:34~40)。赤ちゃんイエスは圧政者から逃げた避難者でした。そのイエスは生涯を通して、すべての人を愛し、受け入れようと努められたのです。イエスは見知らぬ人を迎え入れた人たちをおほめになりました(マタイ25:35, 36)。イエスの模範と教えに従って、教会はクリスチャンに、親切にもてなすようにと呼びかけます。私たちが共に生きていく時に、それは基本原則なのです。

実際的な対応

1. 救世軍は、すべての人類に対する神の愛により、庇護希望者や難民の必要に応えるように、と救世軍人たちに呼びかけます。受け入れ、援助し、擁護する時に、いかなる差別もあってはなりません。

(続く)

日曜学校教師奨励サンデー
2月12日
子どもたちの信仰のため働く先生を覚えて祈りましょう

2022年感謝祭募金結果
11,129,021円
昨年秋におこなわれた感謝祭の募金活動にご協力いただきありがとうございました。日本国内の救世軍の活動を支える尊いご支援を心から感謝いたします。(2022年12月8日現在)

〈連載・第18回〉

神の呼びかけ ～神の民となるために～

(7) 内なる生活への呼びかけ

(承前) 神の注意を引こうとして、祈りによって無理やり天国の扉をたたき割るような必要はありません。それは異教徒のすることです。イエスは弟子たちにそのような真似をしてはいけないと諭し、「あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ」(マタイ6:8)と教えられました。神は人の求めや思いを、わたしたちより先にすでに知っておられます。また、わたしたちの内に深く秘めた願いや霊的な求めについても、気づいておられます。むしろわたしたち自身よりも神はよくご存じであり、わたしたちがそれらの思いを神に打ち明ける時には、神はすでに備えてくださっています。内なる生活を訓練することによって、わたしたちは神がわたしたちに与えようとしておられることに気づくことができます。わたしたちはさらに主に引き寄せられ、主を感じ、人生観も深まるでしょう。

すべての救世軍人への呼びかけ("the Call to all Salvationists")が気づかせてくれるように、「運動としての霊的生活の活力は、わたしたちが世界に向かって伝道や奉仕の業を行う時に示されるものです。しかし、霊的生活の源は、わたしたちが礼拝において神へと向きなおり、聖霊において生活が整えられ、そして御言葉を学ぶ時に見いだされるものです。」

ヨハネによる福音書17章で、イエスはご自身のために、弟子たちのために、そしてすべての信じる者たちのために祈っておられます。偉大な仲保者としてのお姿が表れています。主は御父に向かって、すべての者が一致し、一つとなり、良い関係を保てるようにと祈られました。2000年も前に、イエスがわたしたちのために祈ってくださったことが記録されているのです。主は弟子たちのために祈ると同時に、「また、彼らのためだけでなく、彼らの言葉によってわたしを信じる人々のためにも、お願いします。……すべての人を一つにしてください。」(20、21節)と祈られました。主は、わたしたちが存在するはるか以前に、わたしたちのために執り成してくださいました。わたしたちは祈るなら、常に生きて執り成しておられる唯一のお方に近づくことができます(ヘブライ7:25)。

それゆえに、わたしたちの霊的生活の中心は祈りであり、信仰と鍛錬と忍耐をもって祈ることです。ウィリアム・クーパーは次のようにクリスチャンの生活の本質を教えています。

祈りがなければ、戦えなくなる
祈りはクリスチャンの武具に輝きをもたらす
サタンは震え上がるだろう
弱々しい聖徒が ひざまずく姿に

(「What various hindrances we meet」より)

祈りが何であるかを理解することは、もう一つの問

題です。ジャン-ニコラ・グルー(Jean-Nicholas Grou)は、『How to Pray(いかに祈るか)』の中で、弟子たちはどのように祈るかを教えられなければ気づくことができなかった、と述べています。

「ああ。もし自分がいかに無知であり、イエス・キリストのような師を必要としているかを知っていたならば。もし確信をもってイエスのもとへ行き、イエス自身について、またイエスの恵みによる神への回心について教えを請うていたならば。そうすればすぐにでもわたしたちは強められ、数々の秘訣を見いだすことができたであろう。」

弟子たちがどう祈ったらよいかを尋ねた時、イエスが教えたのは、わたしたちが今「主の祈り」と呼ぶ祈りでした。その祈りを簡潔に言えば、神にふさわしい場所を与えること、いつも神の国のためになること、御心にながう生活をするために必要な高い霊性を願い求めることが示されています。それは、わたしたちが心地良い生活を送ることやトラブルを取り除いてもらうことを願う「買物リスト」のようなものではありません。「主の祈り」では、神は超越された方であり、「御心になるように」と願うことが常に祈りの中心となるよう勧めています。

イエスは弟子たちに、主の名によって願うことは「何でも」と言われましたが、「わたしの名によって」という言葉は大変重要です。わたしたちは、御国が成長するために祈るよう求められています。

とりわけ、マルコによる福音書10章には、人々がイエスにお願いごとをする2つの出来事が記されています。ヤコブとヨハネは率直に、「お願いすることをかなえていただきたい」(35節)と切り出します。実際に彼らが願ったのは、力と承認であり、イエスが願っておられたことではありませんでした。同じ章の51節によれば、バルティマイという盲人が、見えるようになりたいと願い出ています。彼の願いは聞き入れられました。どちらの場合でも、イエスは願う人に同じ言葉をかけています。「何をしてほしいのか」(36、51節)と。主は、今日もわたしたちが祈りをもって近づくなら同じように声をかけてくださいます。そして、わたしたちの名声や地位を追うような力や承認ではなく、わたしたちの内なる生活の資源となるものを与えてくださるでしょう。

(続く)

〔ご案内〕女性の働き100周年記念出版(2022年11月出版)

『この時のためにこそ』

若きフローレンス・ブースの物語』

ジェンティ・フェアバンク著

A5判162ページ定価660円(税込)

若くして救世軍に身を投じ、ブラムエル・ブースの妻として重責を担ったフローレンス。現在に至る救世軍の働きがどのように進められ、女性たちがどのようにかわったか、創業期の息吹を伝える好著。



創立者 ウィリアム・ブライス 大将 ブライアン・ペドル(万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 ステイブン・モーリス(救世軍本営 東京都千代田区) https://www.salvationarmy.or.jp

士官学校

●キャンペーン

2022年11月25日(金)～27日(日)、テーマを「与える喜び」(中心聖句使徒20:35)とし、福山小隊及び広島小隊でおこないました。

25日(金)一広島小隊の戦友宅(筒井家(参加者8人)、間島家(参加者10人))にて家庭集会。共に神に賛美を献げ、吉田慎也候補生が証言を通してメッセージをしました。広島小隊、呉小隊及び呉保育所、愛光園、児童家庭支援センター明日葉も見学することができました。

26日(土)午前一福山小隊近所の公園2カ所でYP野戦(参加者①11人内子ども3人、②7人内子ども1人)をおこないました。キーボード、ギターを用いて子どもたちと一緒に「アンパンマンのマーチ」を歌い、「アンパンマン」の姿から、与える喜びを子どもたちに伝えました。候補生は覚えたての手話を用い、「まひるのように」を導き、賛美しました。

26日(土)午後一コロナ禍を考慮し、子ども会「サンビーム・スペシャル」を、戦友のお子さんを対象におこない、親御さんも参加しました(参加者15人内子ども3人)。夕方、候補生は小隊案内チラシと共に『ときのこえ』を小隊近隣102軒にポスティングしました。

27日(日)午前一福山・呉合同賛美聖別会として守りました(会衆26人内子ども4人)。合同バンド、士官学校と広島地区士官による合唱があり、たくさんの賛美を一同で主に

に献げ、士官学校長代行添田美和少佐が「贈る喜び」(使徒20:18～35)と題して、メッセージをしました。第一アドベン



①②家庭集会 ③YP野戦 ④サンビーム・スペシャル
⑤合同賛美聖別会
⑥福山小隊前での社会鍋デモンストレーション

トの聖日、神が贈ってくださった主イエスに心を向けました。3年ぶりにおこなった合同の聖別会后、交流会をもち、一同再会を喜びました(参加者23人内子ども4人)。27日(日)午後一社会鍋デモンストレーション(参加者12人)を小隊前でおこないました。バンド演奏の間に社会鍋のアピールをし、クリスマス曲をバンド奏楽で歌い、通りがかる方や近隣へ賛美の音色をお届けしました。吉田候補生は力強く救いの証言をしました。多くの皆様の祈りに支えられ、恵み豊かな伝道キャンペーンをおこなえたことを心より感謝しています。(士官学校報)



[ご案内] オンライン 初野戦

1月2日(月・祝)午後2時

救世軍公式YouTube配信

昨年同様YouTube配信です。新年に、聖書のメッセージを伝える機会として、ぜひ多くの方にご案内ください。

発行日及び定価
 福喜版・毎月一日発行 四〇円
 広報版・一部 一〇〇円
 クリスマス特集号(十二月一日発行) 一〇〇円
 振替・〇〇一八〇五四四〇〇

発行兼 救世軍
 印刷人 代表者ステイブン・モーリス
 編集人 山谷 真

〒101-0051 東京都千代田区
 神田神保町二丁目十七番
 電話 東京(03)三三七〇八八一
 発行所 **救世軍本営**
 印刷所 株式会社ヒーアンドエス

(取扱支部)